

農整第147号  
令和元年6月6日

一般社団法人  
富山県建設業協会長 殿

富山県農林水産部長



農林水産部所管工事における生コンクリートの取扱いの一部改正について（通知）

日頃より本県の農林水産行政の推進にご尽力いただき、厚く御礼申し上げます。標記の件につきまして、農林水産部においては、「農林水産部所管工事における生コンクリートの取扱いについて（平成23年1月農整11号）」により運用してきたところですが、現場打ち鉄筋コンクリート構造物の施工性向上を図ることを目的として、下記のとおり一部改正することとしたので通知します。

記

- 1 コンクリート標準配合の運用について  
一般的な鉄筋コンクリート構造物におけるスランプについて、従来の8cmから標準を12cmとする。
- 2 用途別の標準配合について  
別紙のとおり
- 3 適用年月日  
令和元年7月15日以降の決裁にかかる工事から適用する  
なお、既発注工事については、受注者との協議の上で対応すること。

（事務担当：農村整備課 技術管理係 TEL076-444-3299（直通））

別 紙

農林水産部所管工事における生コンクリートの取扱いについて

1. 生コンクリートの標準配合について

- (1) 土木コンクリート構造物の耐久性を向上させるため、一般の環境条件下における構造物に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリートについては、55%以下、無筋コンクリートについては60%以下とすること。
- (2) 環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会の構築を図るため、原則として高炉セメント使用の生コンクリートを使用すること。
- (3) 用途別の標準配合については、以下の配合表のとおりとするが、構造物の規模や打設方法等により配合を決定すること。

種 別	呼び強度 (N/mm <sup>2</sup> )	スラフ <sup>°</sup> (cm)	粗骨材の 最大寸法 (mm)	セメント の種類	W/C (%)	用 途
規格品	18	8	25	BB	65以下	均しコンクリート
規格品	18	8	25	BB	60以下	現場打側溝（自由勾配側溝インパ ート部を含む）、現場打集水 枘、基礎コンクリート、ブ ロック積（張）の胴込・裏 込、集水井静水槽
規格品	18	8	40	BB	60以下	重力式擁壁（無筋）、治山 ダム工、橋台・橋脚（無筋） 根固ブロック、水叩き、集 水井固定盤、なだれ柵基礎 、ブロック基礎等
規格品	21	12	25	BB	55以下	現場打水路（鉄筋）
規格品	21	12	40	BB	55以下	擁壁（鉄筋）注）橋台・橋 脚を除く
規格品	24	12	25 (40)	BB	55以下	PC橋・RC橋のスラブ桁の中 詰床版、RC中空床版
規格品	24	12	40	BB	55以下	橋台・橋脚（有筋）、函渠 （現場打）、PC橋・RC橋 の地覆
規格品	曲げ4.5	2.5(機械施工) 6.5(人力施工)	40	BB	55以下	舗装コンクリート

注意事項

- (1) 設計図書に仕様（配合、セメント種別、水セメント比）を明示し、受注者に対し周知徹底を図ること。
- (2) 呼び強度及び水セメント比については、どちらも満足させること。
- (3) 早期強度を必要とする場合や日平均気温が、4℃を下回る期間（おもに12月～3月）については普通ポルトランドセメントを使用することが出来る。
- (4) 指定した呼び強度において、所定の水セメント比が確保できない場合は、協議のうえ上位の呼び強度を用いることが可能であるが、それに伴う変更設計は行わない。また、構造計算においても上位の呼び強度への読み替えは行わない。

(5) 高炉セメントの使用についての留意点

高炉セメントを使用したコンクリートは普通ポルトランドセメントを使用したコンクリートに比べ長期間の湿潤養生が必要であり(2007年制定 コンクリート標準示方書 施工編 P127 参照)、初期養生はとくに入念に行う必要がある。

<参考> ○道路橋示方書・解説 I 共通編Ⅲコンクリート橋編 平成14年3月 P79 より  
一般に高炉セメントを使用したコンクリートは、初期強度が普通ポルトランドセメントを使用したコンクリートよりも低い。また、硬化初期に湿潤状態が保たれていないと、強度及び耐久性が損なわれるほか、硬化初期のコンクリート温度によっても長期強度の影響が生じる。したがって高炉セメントを使用したコンクリートの初期湿潤養生は特に入念に行う必要がある。

○2007年制定 コンクリート標準示方書 施工編 P43 より

高炉セメント B 種は、アルカリシリカ反応の抑制や塩化物イオン浸透抑制に有効なセメントであるが、最近の高炉セメント B 種は、スラグ混合率および粉末度等によっては、初期強度が大きくなるように調整されており、コンクリートの断熱温度上昇量が普通ポルトランドセメントよりも高くなる場合もある。

2. コンクリート標準配合の改定に伴う運用について

1) 特記仕様書へのコンクリート標準配合の記載

コンクリート標準配合について、当面工事現場での徹底を図るため、該当する構造物の標準配合について特記仕様書に記載する。

(記載例)

第〇条 コンクリート配合

使用目的別の配合諸元は次表のとおりとする。

番号	呼び強度 (N/mm <sup>2</sup> )	スラブ° (cm)	粗骨材の 最大寸法 (mm)	セメント の種類	W/C (%)	用途
1	18	8	25	BB	60以下	現場打集水桝
2	18	8	40	BB	60以下	治山ダム
3	21	12	25	BB	55以下	第〇号水路工(鉄筋)
4	21	12	40	BB	55以下	逆T擁壁(鉄筋)

新旧対照表

現 行		改 正		備 考		
<p>別 紙 1 (1) ~ (2) (略)</p> <p>(3) 用途別の標準配合については、以下の配合表のとおりとするが、構造物の規模や打設方法等により配合を決定すること。</p>						
<p>農林水産部所管工事における生コンクリートの取扱いについて</p>						
種 別	呼び強度 (N/mm <sup>2</sup> )	スラブ (cm)	粗骨材の最大寸法 (mm)	セメントの種類	W/C (%)	用 途
規格品	18	8	25	BB	65以下	均しコンクリート
規格品	18	8	25	BB	60以下	現場打倒壁 (自由配筋) 薄インパート部を含む)、現場打集水林、基礎コンクリート、ブロック積(張)の胸込・裏込、集水井静水槽
規格品	18	8	40	BB	60以下	重方式擁壁 (無筋)、治山ダム工、橋台・橋脚 (無筋) 根固ブロック、水叩き、集水井固定盤、なだれ柵基礎、ブロック基礎等
規格品	21	8	25	BB	55以下	現場打水路 (鉄筋)
規格品	21	8	40	BB	55以下	擁壁 (鉄筋) 注) 橋台・橋脚を除く
規格品	24	8	25 (40)	BB	55以下	PC橋・RC橋のスラブ桁の中詰床版、RC中空床版
規格品	24	8	40	BB	55以下	橋台・橋脚(有筋)、函渠 (現場打)、PC橋・RC橋の地覆
規格品	曲げ4.5 (工)	2.5 (機械施工) 6.5 (人力施工)	40	BB	55以下	舗装コンクリート
<p>別 紙 1 (1) ~ (2) (略)</p> <p>(3) 用途別の標準配合については、以下の配合表のとおりとするが、構造物の規模や打設方法等により配合を決定すること。</p>						
<p>農林水産部所管工事における生コンクリートの取扱いについて</p>						
種 別	呼び強度 (N/mm <sup>2</sup> )	スラブ (cm)	粗骨材の最大寸法 (mm)	セメントの種類	W/C (%)	用 途
規格品	18	8	25	BB	65以下	均しコンクリート
規格品	18	8	25	BB	60以下	現場打倒壁 (自由配筋) 薄インパート部を含む)、現場打集水林、基礎コンクリート、ブロック積(張)の胸込・裏込、集水井静水槽
規格品	18	8	40	BB	60以下	重方式擁壁 (無筋)、治山ダム工、橋台・橋脚 (無筋) 根固ブロック、水叩き、集水井固定盤、なだれ柵基礎、ブロック基礎等
規格品	21	8	25	BB	55以下	現場打水路 (鉄筋)
規格品	21	8	40	BB	55以下	擁壁 (鉄筋) 注) 橋台・橋脚を除く
規格品	24	8	25 (40)	BB	55以下	PC橋・RC橋のスラブ桁の中詰床版、RC中空床版
規格品	24	8	40	BB	55以下	橋台・橋脚(有筋)、函渠 (現場打)、PC橋・RC橋の地覆
規格品	曲げ4.5 (工)	2.5 (機械施工) 6.5 (人力施工)	40	BB	55以下	舗装コンクリート
<p>注意事項 (1) 設計図書に仕様を明示し、請負者に対し周知徹底を図ること。</p> <p>2 (1) (略) (2) コンクリート水セメント比に関する品質管理について 発注者は、使用資材届の提出時に、使用するコンクリートの水セメント比は、製造プラントが作成する配合計画書により、製造プラントが定めた「水セメント比」の目標値が特別仕様書の明記した「水セメント比」以下であることを確認するものとする。</p>						

注意事項  
(1) 設計図書に仕様を明示し、受注者に対し周知徹底を図ること。

2 (1) (略)  
(2) 削除

配合計画書について、各セクターにて一括で受け取っていただくため

標準スランプ値の決定